

《学校評価シート1》  
平成28年度

学校名	県立ゆり支援学校道川分教室	評価領域	研究・学習指導
-----	---------------	------	---------

重点目標	人との関わりを広げる授業づくり ～自分の気持ちを表し、伝える姿を目指して～	P
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度、分教室の授業づくりにおいては、児童生徒が主体的に活動するための分かりやすい状況づくりである4つの観点「言葉掛け」「姿勢づくり」「教材・教具の工夫」「授業展開」を大切に、朝の活動・朝の会を取り上げて授業改善に取り組んだ。4つの観点から実態に合わせて焦点を絞った授業づくりを通して、周囲の状況や人への気付き、関心が高まり、友達や教師と共に学ぶ楽しさを感じ、一体感を持ちながら相手と関わろうとする姿が見られた。そこで、今年度はこれまで培ってきた人と関わる力を継続的な実践の積み重ねの中で広げていくことができるよう、昨年度とは異なる児童生徒や教師との集団学習である朝の活動・朝の会を取り上げ、「自分の気持ちを表し、伝える姿」に焦点を当てて取り組んでいく。</li> </ul>	
具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の積み重ねを生かし、研究テーマに基づく実践的な授業研究を推進する。</li> <li>・日々の教育活動の充実を目指した職員研修を推進し、専門性の向上を図る。</li> <li>・学校評価の領域「学習指導」を平均評価点3.00（満点4.00）以上にする。</li> </ul>	
目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度重複障害教育における授業改善を目指した授業研究会の開催や授業評価記録用紙の様式及び活用について検討し、実施する。</li> <li>・重度重複障害教育に関する研修会を実施し、専門性の向上と授業づくりに役立てる。</li> <li>・公開授業研究会やホームページ等を通して、研究の成果や課題、研修に関する情報を発信する。</li> </ul>	
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前授業研（3回）、公開授業研（2回、指導主事要請訪問を含む）</li> <li>・アセスメントチェックリストの活用</li> <li>・ケース検討会、授業づくり検討会を連動して実施（学習グループごとに各3回）</li> <li>・自立活動学習会（5回）及び教材・教具研修会（2回）</li> </ul>	D
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前授業研や公開授業研を行うことで、様々な人の意見を聞くことができ、多角的な視点からの評価を得て授業改善に役立てることができた。さらにワークショップ型の研究協議会を実施したことで、活発に意見交換がなされ、協議が深まった。</li> <li>・授業評価記録用紙を作成し、様式や活用方法の検討、改善をしたことで、日常的な活用がなされ、次時の授業づくりに生かすことができた。</li> <li>・研究テーマに沿って授業改善を重ねながら目指す姿に迫るための授業づくりを実践してきたことで、児童生徒が自分の気持ちを表す場面が増え、教師や友達への関わりが広がってきた。</li> <li>・自立活動学習会や教材・教具研修会等を実施することで、学んだ内容を授業づくりに生かすことができた。また、職員にアンケートをとり、ニーズに応じた職員研修を実施したことで、専門的な知識や技術を向上させることができた。</li> <li>・研究会、研修会の様子を早目にホームページにアップして情報を発信できた。</li> </ul>	
自己評価 ----- (評価) A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価領域「学習指導」の平均評価点は3.37で、中間評価3.27（昨年度末評価3.31）を上回った。また、評価項目「教育課程や指導内容、指導方法、教材・教具は児童生徒のニーズに合っている（3.07→3.21）」「職員は児童生徒の教育に熱心に取り組み、授業の充実や専門性の向上に努めている（3.29→3.64）」の平均評価点が、中間評価と比較して大きく伸びた。</li> </ul>	C

<p>学校関係者 評価と意見</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(評価) A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議委員会では「学校運営の隅々まで教育目標や経営の基本方針が貫かれている」「学習指導や生徒指導、進路指導、行事等の分野でも改善が図られ、昨年度よりも評価が向上している」「保護者の満足度が高い」などの意見をいただいた。</li> <li>・病院関係者アンケートでは評価領域「分教室運営」の平均評価点が4.00、同「学校行事」の評価点が3.81で「教育方針・運営計画の説明」「学習活動や学校行事に関する連絡・調整・情報交換」等が適切に進められているとの高い評価を得られた。また、保護者アンケートの同「学習指導」の平均評価点が3.84で、高い評価を得た。</li> </ul>	
<p>自己評価及び 学校関係者評 価に基づいた 改善策</p>	<p>〈より良い授業づくりや指導力・専門性の向上のために〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究1年目の成果や課題、児童生徒の「気持ちを表し、伝える姿（目標）」を踏まえた研究の継続。</li> <li>・外部人材を活用した公開授業研究会及び研修会の開催（ワークショップ型の研究協議の継続、積極的な情報発信）。</li> <li>・内容や方法、講師等を考慮した学習会や研修会、研修報告会の充実。</li> <li>・県内外特別支援学校の公開授業研究会及び研修会への相互参加。</li> </ul>	<p>A</p>